

2025年度入社式について

2025年4月1日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、「2025年度入社式」を行いましたのでお知らせいたします。

4月1日（火）10時から、国立研究所において、「2025年度入社式」を行いました。

入社式では、役員立ち会いのもと、渡辺郁夫理事長から新入職員24名に辞令が手渡されました。引き続き、理事長から新入職員へあいさつがあり、それを受け、新入職員を代表して市川貴道が答辞を述べました。



理事長あいさつ要旨

入社おめでとうございます。

24人の皆さんを鉄道総研に迎えることができ、大変うれしく思います。

さて、現在の日本の鉄道は、コロナ禍を経て大きな変化の中にあります。労働人口の減少や、自然災害の激甚化、カーボンニュートラルの実現への対応など、取り組むべき課題は山積しています。

そのような中、鉄道総研は「革新的な技術を創出し、鉄道の発展と豊かな社会の実現に貢献する」ビジョンのもと、これらの課題解決に向けて全力で取り組んでいるところです。

また、本日より、5年間の活動計画である基本計画 RESEARCH2030 がスタートしました。「持続可能な鉄道システムの創造」を目標に掲げています。今日から皆さんの力も加え、これらの活動を加速させていきたいと思っております。

本日は、これから皆さんが仕事を進めるにあたり、次の3つをお願いします。

第1は「鉄道の現場をしっかりと見て、知ってほしい」ということです。われわれが取り組む課題の多くは鉄道の現場にあります。鉄道の仕組み、技術が、なぜそうなっているのか、改善すべきことがないかなど、問題意識をもっていただきたいと思っております。

第2は、自分の専門分野の知識、技術をしっかりと身につけ、それをどのように役立てるのか考え、いろいろな課題に対応する力を鍛えていってほしいと思っております。また、最近では分野横断的な取り組みが増えてきています。自分の専門分野以外にも目を向けて広い視野で課題を捉えて、その解決に向けた取り組みをしてほしいと思っております。

今、鉄道は大きく変わりつつあります。このような時は、技術革新の機会です。したがって様々な課題に柔軟に対応できる力を鍛えておくことが重要です。

第3は、「DX」や、「GX」の視点を常に磨いていってほしいと思っております。

鉄道の現場では、省力化・省人化、コスト低減のニーズがますます高まっています。そしてGXについても、カーボンニュートラル実現は喫緊の課題です。皆さんの新鮮な感性をこ

写真 理事長から辞令を受け取る新入職員



写真 新入職員へあいさつする渡辺理事長

これらの研究開発をはじめとする業務に生かしてほしいと思います。

鉄道総研は、鉄道の基礎から応用までを扱う、そして幅広い技術分野を扱う研究所です。研究にじっくり取り組める環境があり、そして皆さんの取り組みの一つ一つが鉄道の将来の創造に直接的に貢献することとなり、また、それを実感できる魅力もあります。皆さんが、この鉄道総研で、「夢」や「目標」の達成に向けて、伸び伸びと活躍されることを期待します。何事も前向きに考えて、そして新しいことにも果敢にチャレンジしながら、各自の業務に取り組んでほしいと思います。

皆さんの活躍を期待しています。元気に頑張ってください。

新入職員代表者答辞要旨

本日は、私どものために入社式を開催していただき、誠にありがとうございます。新入職員一同を代表し、心より御礼を申し上げます。

ただいま、理事長より心温まる歓迎と激励の言葉をいただき、深く感銘を受けるとともに、身の引き締まる思いでいっぱいでございます。私どもは本日より、公益財団法人鉄道総合技術研究所の一員として、皆様とともに働けることを心より光栄に存じております。

本日賜りました言葉を胸に、鉄道が社会の発展にどのように寄与するかについて日々探求を続け、世界の最先端を見据えつつ革新的な技術創出を通じた豊かな社会の実現を目指し、邁進する所存です。

しかしながら、私どもは若輩ゆえ、至らぬ点多々あるかと存じます。鉄道総研の名に恥じぬよう日々精進し、一日でも早く職員として、皆様とともに業務を推進できるよう、全力で努めてまいります。どうぞご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが答辞とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。



写真 答辞を述べる新入職員